

広島県移住促進セミナー「HIROBIRO.ひろしまinトーキョー」

まちづくり しごと トライアル編

～海、山、自然豊かなまち、都会、広島県内で仕事をとおして、まちづくりを行う仲間を大募集！～

2016年11月24日(木)19:00～20:45

@NPO法人ふるさと回帰支援センター(千代田区有楽町)

広島県では、移住・定住施策の一環として、東京圏で地方移住や地方での活動に関心を持つ若年層等を対象としたセミナー「HIROBIRO.ひろしま in トーキョー」を開催しています。

今年度、第9回目となる今回のセミナーは、「まちづくり・しごと」をテーマとして、県内各地で地域課題を移住者と共に解決しようとするゲスト6名が、具体的に地域の求める人物や仕事について説明した後、参加者の疑問を解決するための相談会を予定しています。



【地域の概要・求める人物】

- ・呉市御手洗 江戸時代から栄えた港町で、地域の賑わいづくりのため、地元が続く惣菜屋の後継者や、空き店舗を活用して小商いと地域の情報発信を行う人を求めています。
- ・竹原市忠海 新たに設立された「まちづくり会社」とも連携し、空き店舗を活用した花カフェや、古民家を活用した賑わいづくりに取り組む人を求めています。
- ・府中市本山 地域に集積する最先端のものづくり企業と連携した新しい働き方を実現し、築200年以上の庄屋屋敷を活用した集落再興に取り組む人を求めています。
- ・庄原市西城 都市部の空き店舗と山間部の耕作放棄地を活用した、自然循環や食の安全安心などを大事にした2拠点アグリビジネスに連携して取り組む人を求めています。
- ・東広島市福富 こだわりの6次産業が盛んな内陸のまちで、サステナブルビレッジとしての地域活性化にも取り組む、きこりビジネスの後継者、新しい6次産業の担い手などを求めています。
- ・北広島町大朝 かつては山陰と山陽を結ぶ街道の宿場町として栄えた商店街で、造り酒屋復活の活動にも参画しながら、空き店舗を活用したレストランやカフェの経営、農畜産物の生産・加工を行う人を求めています。



これらの地域の一員となって、一緒に取り組んでいただける方の参加をお待ちしています。ぜひ、貴メディアでのご取材やご紹介を賜りますようお願い申し上げます。

開催概要

- 【日時】 2016年11月24日(木) 19:00～20:45
- 【場所】 NPO法人ふるさと回帰支援センターセミナールームB
(東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館8階)
- 【主催】 広島県、広島県交流・定住促進協議会 【共催】 NPO法人ふるさと回帰支援センター
- 【内容】 第1部 セミナー テーマ「私達のまちづくり、こんなしごと人を大募集!!」
第2部 相談会
- 【募集人数】 20名程度
- 【参加費】 無料
- 【参加方法】 11月21日(月)までに、参加者名・連絡先を電話またはE-mailでお知らせください。
「ひろしま暮らしサポートセンター」(NPO法人ふるさと回帰支援センター内)
Tel: 080-5873-3296 (直通) E-Mail: chisouzou@pref.hiroshima.lg.jp 【担当:平野】

★当日、取材いただける場合は、会場準備の都合により、お手数ですが下記までご連絡いただければ幸いです。

《本件に関するお問い合わせ》

広島県地域政策局地域力創造課 担当: 田中 電話: 082-513-2581 FAX: 082-224-1977
ひろしま暮らしサポートセンター 担当: 平野 電話: 080-5873-3296 FAX: 03-6273-4404
(東京交通会館8階、NPO法人ふるさと回帰支援センター内)

ゲストプロフィール



井上 明(いのうえあきら)さん
合同会社よーそろ 代表執行役員

広島市安佐北区出身。九州でのサラリーマン生活の後、広島県呉市で移住。大崎下島御手洗地区で江戸時代の船宿を改修したカフェを拠点に、地域課題をビジネス的な手法で解決する多様な取組を進め、地域のみならずとも、移住者の収益モデルづくりに取り組んでいる。



福本 博之(ふくもとひろゆき)さん
竹原舞祭 代表取締役

竹原市出身。中学から市外の学校に通い、大学は兵庫県、就職して10年間東京で勤務していたが、父の急逝により竹原市へUターン。花に関する様々な体験をとおして、人と人が交流する花カフェや、ドローンを使った新たなまちづくりに取り組んでいる。



宮脇 亮平(みやわきりょうへい)さん
建築士

1983年広島県府中市生まれ。大学で建築を学び、建築設計事務所勤務した後、まちづくりとデザインの会社(studio-L)に参画。長崎県、京都府などで地域活性化や総合計画策定のプロジェクトに携わる。現在は家業の建設会社で勤める一方で、地元地域にある空き家を活用するプロジェクトに取り組んでいる。



栗栖 伸明(くりすのぶあき)さん
あちゅらむオーガニックファーム 代表

ファームステイ先のカナダで農業の魅力と出会う。帰国後、広島市内に「旬の味覚堂」「味噌アト」をオープン。平成24年から実家のある庄原市西城町で自然農法による野菜づくりに取り組み、広島市内の飲食店へ食材を提供。お店で出すものはすべて自給できるレストランをつくるのが目標と語る。



下永 速(しもながはやし)さん
きこりや 代表

本業の「きこり」の功、製材切り出した木材を利用した建築も手掛けている。福富産の木材利用した木工製品の販売、木工教室の開催など、国産材の普及にも取り組む。福富の静寂沼言と地域での移住者の受入支援を積極的に行っている。また価値観を共有でき意欲のある事業者後継者を求めている。



福光 寛泰(ふくみつひろやす)さん
福光酒造株式会社 蔵元

10年前に廃業となった実家の酒蔵を復活したいと、22年間の酒蔵武者修行の後、大朝に戻る決意を固める。平成29年度の果実酒醸造、どぶろく造りに向けて準備を進めている。酒蔵をメインに、飲食・宿泊施設の経営も視野に入れている。

ひろしま移住サポートメディア「HIROBIRO.(ひろびろ)」について

広島県には、創造力や意欲をかきたてる上質な都市環境があり、そこからドア・トウ・ドアで1時間の圏域に、都市とは別世界の、人に寄り添い文化を育む海・山・川の自然があります。

都市や山間部・島しょ部に多種多様な資源を持つ広島には、新しい時代をつくる活動のフロンティアが広がり、人生の可能性を大きく拡げることができます。

2015年3月に開設したウェブサイト、ひろしま移住サポートメディア「HIROBIRO.」では、これまでの「田舎暮らし」ではなく、広島県の「都市と自然が近い」地域特性を生かして、「こだわり」や「夢」を諦めることなく、経済的にも満ち足りて、大都市の何倍も自己実現を図りながら、「新たな挑戦」をしている人々のライフスタイルを御紹介しています。

なお、過去の移住促進セミナーの開催状況も掲載しています。



ひろしま移住サポートメディア「HIROBIRO」

ひろびろ ひろしま

検索

ひろしま暮らしサポートセンターのご案内

広島県では、東京有楽町のふるさと回帰支援センターに相談窓口を設置し、ひろしまライフスタイルリストが、移住に関する相談、情報提供などを行っています。

時間 10:00~18:00(月・祝休み)

電話 080-5873-3296



移住ランキングが急上昇(2015年は6位に！)

認定NPO法人ふるさと回帰支援センターが発表した「移住希望地域ランキング2015」において、広島県が初めてベストテン入りし、第6位となりました。同ランキングで、広島県は2013年までは圏外(21位以下)でしたが、ウェブサイトの開設や相談窓口の設置、人材マッチングセミナーの開催等により、広島県で「暮らす」イメージが少しずつ浸透してきています。